

知立市歴史民俗資料館展示室ジオラマがリニューアルします

昭和62年10月に開館して以来、設置してあります知立市域のジオラマを、今年度リニューアルするため制作を進めてまいりました。

今回のジオラマはプロジェクションマッピングを取り入れた仕様になっております。タッチパネルで操作でき、コンテンツは「知立の地形・地質」「知立の成り立ち」「知立の文化財」「知立の今と昔の地図や航空写真」で構成されています。

各コンテンツはプロジェクションマッピングを投影したジオラマと、ナレーションに併せモニターに映像や解説が映し出されます。

ところで、知立市の特徴と言えば、交通の利便性が良いことがあげられると思います。

現在では国道1号や155号、23号バイパスなどの広域幹線道路や名鉄の鉄道網、過去では東海道や宿場が事例として挙げられています。しかし、それらは部分的な紹介にとどまっており、交通の要衝”知立”が通史的に語られることがありませんでした。つまり、一部の素材を強調したイメージがつくられていたのです。

そこで、今回は約3m四方の市域の地形ジオラマを舞台に、集落と”みち”のかかわりや移り変わりをキーワードとして、交通の要衝”知立”の歴史を具体的に可視化した「知立の成り立ち」というコンテンツでまとめました。

わかっているようでわかっていなかった、知られざる知立の軸となる歴史を、ぜひ最新技術でご覧ください。

ご来館いただく皆さまには4月よりご覧いただけますので、ぜひご期待頂きたいと思います。

